## 入院から退院までのおおまかな経過について(大雪病院 入院診療計画表)

説明日: 年 月 日 説明者:

本人様(家族様)サイン:

経 過	B R	<b></b>	~2週間	~1ヶ月	1ヶ月以上5ヶ月未満	退院1ヶ月前
医自	)	身体状况 •患者様	諸検査を行い、患者様の 兄を把握します やご家族の意向を伺い、 台療方針やリハビリ計画 ;す	・医学的な管理を行います ・補装具の検討を行います ・病状や予後の説明をします	・医学的な管理を行います ・補装具の検討を行います	・退院後の病状管理指導などを 行います
看護師	100	・入院生 ・医師の を行いま	認を行います 舌に関する説明を行います 指示の下で病状管理 :す 画を作成します	・病状管理を行います ・看護計画を再検討します ・病棟での日常生活動作向上 のための援助を行います	・病状管理を行います ・看護計画を再検討します ・外出、外泊の調整を行います ・病棟での日常生活動作向上 のための援助を行います	・看護計画を再検討します ・退院後の健康管理について 説明を行います
リハビ PT( OT( ) ST(	リ ) ) )	記銘や 日常生	況、高次脳機能(失語、 注意などの障害)、 活動作などを評価します 計画に基づきリハビリを ます	<ul><li>・定期的に再評価を行います</li><li>・リハビリ計画に基づきリハビリを 実施します</li><li>・補装具、車いす、自助具などの 検討を行います</li></ul>	<ul><li>・定期的に再評価を行います</li><li>・リハビリ計画に基づきリハビリを実施します</li><li>・補装具、車いす、自助具などの検討を行います</li><li>・外出、外泊での指導を行います</li></ul>	・家屋調査を行い、住宅改修 のアドバイスを行います ・退院後の生活を踏まえた訓練、 生活指導を行います
相談員 MSW (座間)			報、入院前生活歴などの 集を行います	・退院後の生活の場所を伺います ・介護保険サービスの説明と 申請方法 について説明します	<ul><li>・在宅における介護サービスの説明を行います</li><li>・退院後の計画について確認します</li></ul>	<ul><li>・介護認定について確認します</li><li>・身体障害者手帳申請の調整をします</li><li>・退院の調整を行います(転院、施設入所など)</li></ul>
カンファ レンス				初期カンファレンス	後期カンファレンス	退院前カンファレンス

B	0	脳梗塞の症状悪化を予防する	退	病	状安定を条件として	
	Ŭ		院	I:【自宅退院基準】	Ⅱ:【施設入所基準】	Ⅲ:【転院基準】
標	©	合併症を予防し、残存筋力の低下、 関節の拘縮を予防する	· 転院 基準	・外来での通院が可能 ・セルフケアが自立、または 家族介護により在宅生活が可能	・セルフケアに介護を要するが、 家族による介護が困難	・継続した医療が必要

患者氏名:

様

発症日:R 年 月 日 入院日:R 年 月 日

経 過	入院日~2週間目	1ヶ月目	1ヶ月以上~5ヶ月未満	退院1ヶ月前
退院目標	□在宅 □病院 □施設( )	□在宅 □病院 □施設( )	□在宅 □病院 □施設( )	□在宅 □病院 □施設( )
カンファ		初期(月日)	後期(月日)	退院前(月日)
Dr. ( )	□診察 □検査計画 □リハ処方 □食事指示 □安静度指示 □治療計画説明 □合併症治療指示 □患者・家族の意向確認	□医学的管理 □定期検査指示 □予後予測 □患者、家族への説明	□医学的管理 □定期検査指示 □予後予測の修正 □介護保険意見書作成 □患者、家族への説明	□医学的管理 □定期検査指示 □退院後の病状管理指導 □身体障害者診断書の作成 □情報提供書作成
Ns. ( )	□情報確認 □オリエンテーション □入院時評価 □看護計画作成 □日課表作成	□看護評価 □看護計画再検討 □生活支援	□看護評価 □看護計画再検討 □外出・外泊の調節 □生活支援	□看護評価 □看護計画再検討 □退院後の健康管理指導 □生活支援 □看護サマリーの作成
リハビリ PT( ) OT( ) ST( )	□初期評価(身体・運動機能など) □初期評価(高次脳機能・ADL能力など) □初期評価(言語、嚥下機能など) □リハビリ訓練	□再評価(身体・運動機能など) □再評価(高次脳機能・ADL能力など) □再評価(言語、嚥下機能など) □補装具などの検討 □リハビリ訓練	□再評価(身体・運動機能など) □再評価(高次脳機能・ADL能力など) □再評価(言語、嚥下機能など) □補装具などの検討 □家屋評価 □リハビリ訓練	□退院時評価(身体・運動機能など) □退院時評価(高次脳機能・ADL能力など) □退院時評価(言語、嚥下機能など) □退院時リハ指導 □リハビリ訓練
MSW (座間)	□初回面談 □情報収集 □介護保険制度の説明	□方向性の確認 □介護保険認定申請の説明	□退院計画確認 □方向性の決定	□介護認定確認 □身体障害者手帳申請 □住宅改修・福祉用具の調整 □退院調整 □ケースシート作成
日常生活 機能評価	∕20点			∕20点

退	院基準			退院	時 情 報
I:【自宅退院基準】 ・外来での通院が可能 ・セルフケアが自立、または 家族介護により在宅生活が可能	Ⅱ:【施設入所基準】 ・セルフケアに介護を要するが、 家族による介護が困難	Ⅲ:【転院基準】 ・継続した医療が必要	病院名 主治医 令和	大雪病院	Ш